



The 62nd Annual Meeting of the Japanese Society of Nephrology

# 第62回日本腎臓学会学術総会

## Prof. Susan E. Quaggin

Susan E. Quaggin 先生は 2013 年より米国 Northwestern 大学腎臓内科、Feinberg 心臓血管研究所の教授を務められています。ご専門は糸球体疾患、TMA、糖尿病性腎症です。先生は主にマウス遺伝学的手法を用いて腎臓病の病態を次々と明らかにしており、特に、抗がん剤として用いられている抗 VEGF 抗体薬が腎臓の糸球体を障害する機序を同定したことは有名です (NEJM 2008)。その後も、血管作動性物質である VEGF や Angiopoietin の腎臓における役割、血管増殖因子のシグナル解析、リンパ管発生など多岐に渡った研究が行われています。近年では血管新生経路と緑内障との関連についても検討をされており、臨床から基礎研究まで幅広く活躍されています。また先生は JASN や Kidney Int 誌を始めとするジャーナルの編集委員を歴任されており、アメリカ腎臓学会の評議員でもあります。先生のラボでは今までに多くの日本人研究者を受け入れ研究をされてきました。このセッションは、先生と直接ディスカッションしアドバイスを頂ける貴重な機会になると思います。先生方の積極的な参加をお待ちしております。

### 【講演スケジュール】

#### ①セッション：招請講演 3

日 時：2019 年 6 月 22 日 (土) 11:30~12:20  
会 場：第 1 会場 (1 号館 2 階 センチュリーホール)

#### ②セッション：JSN/ASN Joint Symposium

日 時：2019 年 6 月 21 日 (金) 15:30~17:30  
会 場：第 10 会場 (3 号館 3 階 国際会議室)